



おともがわ

学校報 NO. 33

保護者版

令和3年1月15日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

しめくりに 向かって

今年の冬は、記録的な積雪と寒さとなっており、保護者の皆様におかれましても大変な日々をお過ごしのことと思います。

そのような中ですが、冬休みも終わって今日から学校が再開しました。積雪のために狭くなった歩道に加え、登校の時間帯には雨も降り、雪に足をとられながらも、子どもたちは元気に登校していました。

学校では、2校時に全校集会を行いました。進級・進学に向けて、残された2か月半の期間に頑張ることを学年に関係なく自由に発表してもらいました。初めは少し尻込みしていた子どもたちでしたが、最高学年の6年生が進んで演台に行くと、他の学年の子どもたちも、どんどん続いてくれました。残念ながら時間の都合で全員は発表できませんでしたが、いろいろなことに意欲的に頑張る姿を見せてくれました。



発表では「6年間の勉強を完璧にする」「体力づくりをがんばる」「苦手教科を克服するために自主学習をがんばる」「自主学習を毎日70分以上をがんばる」などと、2か月半後の自分の姿を想像しながら、具体的な目標を発表してくれました。

集会の後で、各学級で一人一人の目標を決めたこととでしょう。学年が一つ進む喜びに向かって、頑張る子どもたちを先生方も全力で支援していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

雪道の安全

昨日の集団下校時に先生方がそれぞれの登校班に同行し、大雪による通学路の状況と、周囲の危険箇所を確認しました。

実際に歩いてみると、見通しが悪かったり、道幅が狭かったりと気をつけて登下校しなければならない箇所がありましたので、子どもたちに指導するとともに、教育委員会等にも報告し対処してもらうよう依頼します。また指導内容は後ほど保護者の皆様にもお知らせいたします。



登下校に限らず、降雪時の安全として昨日の全校集会でも以下の点について子どもたちにお話ししましたので、家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

①屋根からの落雪に注意

例年以上に屋根には雪が乗っています。暖気になったら、さらに要注意です。

②池や川、用水路に注意

県外で高校生が氷が割れて池に落ちて亡くなるという悲しい事故がありました。雪に隠れていることもあります。

③流雪溝に注意

蓋(格子)が開いている場合があります。気をつけて歩きましょう。